

問1 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？

1. 東北地方 2. 四国地方 3. 九州地方 4. 近畿地方

問2 清少納言が仕え、『枕草子』執筆のきっかけとなった一条天皇の後は誰？

1. 藤原彰子 2. 藤原妍子 3. 藤原威子 4. 中宮定子

問3 院政を行うために、天皇の住む御所の外に設けられた上皇の執務機関を何という？

1. 院庁 2. 藏人所 3. 政所 4. 検非違使

問4 平安時代末期に厳島神社の社殿を整備した武士は誰？

1. 源頼朝 2. 織田信長 3. 足利尊氏 4. 平清盛

問5 国風文化の発展を支えた、漢字を簡略化して作られた文字を何という？

1. カタカナ 2. 梵字 3. かな文字 4. 漢字

問6 清少納言が記した、宮廷の生活や自然について独自の感性で書きつづった日本を代表する文学形式は何？

1. 随筆 2. 日記 3. 物語 4. 和歌集

問7 摂関家を外戚に持たず、荘園整理令を出して藤原氏の勢力を抑えた天皇は誰？

1. 後三条天皇 2. 醍醐天皇 3. 白河天皇 4. 村上天皇

問8 「この世をば わが世とぞ思う…」と詠み、当時の絶大な権力を誇示した人物は誰？

1. 藤原道長 2. 藤原基経 3. 藤原良房 4. 藤原頼通

問9 平安時代の貴族文化において、仏教の教えを絵画や工芸品などを用いて表現したものを何という？

1. 浄土教美術 2. 仏像彫刻 3. 書道芸術 4. 曼荼羅画

問10 平安時代初期に、唐で密教を学んで帰国し、高野山を拠点として真言宗を開いた僧は誰？

1. 最澄 2. 聖武天皇 3. 空海 4. 行基

問11 平安時代初期に最澄が天台宗の総本山として延暦寺を建立した場所はどこ？

1. 東大寺 2. 清水寺 3. 比叡山 4. 高野山

問12 平安時代、紀貫之に最初の勅撰和歌集の編纂を命じた天皇は誰？

1. 宇多天皇 2. 朱雀天皇 3. 一条天皇 4. 醍醐天皇

問13 平泉の奥州藤原氏が、極楽浄土を表現するために建立した金箔の仏堂を何という？

1. 中尊寺金色堂 2. 平等院鳳凰堂 3. 法隆寺金堂 4. 東大寺大仏

問14 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方を何という？

1. 禅宗 2. 浄土信仰 3. 密教 4. 儒教

問15 平安時代、地方の政治が乱れる大きな原因の一つとなった制度の廃止を何という？

1. 遣唐使廃止 2. 平城京遷都 3. 長岡京遷都 4. 大化の改新

答え合わせ・解説

問1	答え 1 東北地方	東北地方には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとしていました。朝廷は多賀城などの拠点を作り、軍事的に征討を試みました。
問2	答え 4 中宮定子	中宮定子は非常に教養深く、気品あふれる人物として知られていました。彼女に仕えた清少納言は、その優雅な振る舞いやサロンの様子を『枕草子』の中に書き残しました。定子は、平安貴族の優雅な生活を象徴する存在の一人です。
問3	答え 1 院庁	院庁は、院政における実務的な行政機関であり、上皇の意志を国家政策として実行する役割を持ちました。ここで出される命令は「院宣」と呼ばれ、強い権力を持っていました。組織として整備されることで、摂関政治とは異なる独自の政治体制が確立されました。
問4	答え 4 平清盛	清盛は日宋貿易を積極的に進め、経済的な力を高めました。航海の安全を祈願して、瀬戸内海の厳島神社を厚く信仰し、豪華な社殿を整備しました。平氏の権力は全盛を迎え、一族で朝廷の高位を独占するまでになりました。
問5	答え 3 かな文字	漢字の草書体を簡略化した「ひらがな」や、漢字の一部をとった「カタカナ」が普及しました。これにより、複雑な漢字を使わずに和歌や日記、物語などを自由に書けるようになり、文学表現の幅が大きく広がりました。
問6	答え 1 随筆	随筆（エッセイ）は、決まった形式にとらわれず、作者が思ったことや見たこと、季節の移り変わりなどを書き記す形式です。清少納言の『枕草子』はその代表格であり、彼女の鋭い視点やユーモア、時には批判的な意見なども書き込まれています。かな文字が使われたことで、日本語特有のリズムや情緒を豊かに表現できるようになりました。
問7	答え 1 後三条天皇	後三条天皇は、母が藤原氏出身ではない天皇として即位しました。記録荘園券契所を設置して延久の荘園整理令を出し、不正な荘園を廃止して朝廷の財源を確保しました。これにより、藤原氏の経済的基盤が揺らぎ始めました。
問8	答え 1 藤原道長	藤原道長はこの戦略を最大限に活用しました。自身の子や孫が天皇となることで、天皇の代理である「摂政」や「関白」として政治の全権を握りました。その自信と誇りを象徴するのが「望月の歌」であり、満月のように欠けるもののない権力を持っているという自負を表現しています。
問9	答え 1 浄土教美術	浄土教美術は、阿弥陀如来や極楽浄土の華やかな世界を絵画、彫刻、建築に込めた芸術です。平等院鳳凰堂の内部にある華麗な障壁画や、阿弥陀如来坐像などは、当時の最高の職人や芸術家によって作られました。繊細な装飾や美しい色彩は、平安貴族の優雅で洗練された文化を象徴しています。
問10	答え 3 空海	空海は遣唐使として唐へ渡り、恵果から密教の教えを授かりました。帰国後、嵯峨天皇から京都の教王護国寺（東寺）を賜るとともに、和歌山県の高野山を修行の拠点として真言宗を開きました。密教は、經典の言葉だけでは表せない深い教えを、仏像や曼荼羅、印や真言などを使って表現するのが特徴です。
問11	答え 3 比叡山	比叡山は平安京（京都）の鬼門の方角にあり、都の守護を担うという意味も持っていました。ここに開かれた延暦寺には多くの僧侶が集まり、仏教の研鑽を積む拠点となりました。
問12	答え 4 醍醐天皇	醍醐天皇は学問や芸術を尊重し、多くの文人を重用しました。905年、彼は紀貫之らに命じて、それまでの和歌を集めた日本初の勅撰和歌集『古今和歌集』を編纂させました。この事業は、日本の文学史において非常に重要な出来事です。
問13	答え 1 中尊寺金色堂	中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った非常に豪華な造りです。奥州藤原氏の財力を象徴するだけでなく、戦乱の絶えない現世を離れ、平和な極楽浄土を地上に再現しようという願いが込められています。
問14	答え 2 浄土信仰	浄土信仰は、阿弥陀仏を信じ、その名（南無阿弥陀仏）を唱えれば、死後に極楽浄土へ行くことができるという教えです。当時の貴族たちは、自分の館や寺院の建物に阿弥陀仏を安置し、豪華な飾りつけをすることで、現世に極楽浄土を再現しようとしていました。平等院鳳凰堂はその代表例です。
問15	答え 1 遣唐使廃止	894年の遣唐使廃止によって日本は中国との公的な外交関係を絶ちました。これにより、中央政府の関心は外交から国内統治へと向かいましたが、地方へ派遣された国司たちが現地に赴かず、京に留まって私腹を肥やすといった政治の腐敗が目立つようになりました。